

令和3年度

## 事業報告書

一般社団法人 CS 阿波地域再生まちづくり





写真① 親子清掃の様子



写真② 親子清掃の様子



写真③ プラスチックごみ収集の様子



写真④ 海岸清掃の様子



写真⑤ 流木ごみの収集の様子



写真⑥ プラスチックごみ収集の様子





写真⑦ 清掃活動終盤の様子



写真⑧ 消波ブロック間に体積するごみ収集



写真⑨ 収集活動をした後のごみ



写真⑩ ごみ計量の様子



写真⑪ 収集したごみの一部



写真⑫ ごみ収集表彰の様子



写真⑫ 漁船クルージングの様子



写真⑬ 漁船クルージングの様子



写真⑭ 漁船クルージングの様子



写真⑮ 漁船クルージングの様子

## 5・事業成果

コロナ禍という社会環境の中で、県内のイベントや行事は中止が相次ぎ、子供達の行き場がなくなりつつあった。本事業では他団体と同様開催の実施について判断が極め難しい状況下であったが、徳島県は幸いコロナ感染拡大中でもアラートや制限が宣言されておらず、実施することが可能となった。実施にあたり感染対策として、受付時に検温検査、マスクの着用の義務付け、消毒液の設置等を行った。

学童クラブや保育所・保育園にチラシを配布した他、各所に広報したことから、当日の参加者は、コロナ禍の中、満員御礼の申込をいただき、45名ほどの親子参加があった。主なプログラム内容は、海洋環境のための浜辺の清掃活動とクルージング乗船を実施し、清掃活動では、単に清掃を行うための参加者募集では人が集まらないことが懸念されていたため、創意工夫を凝らし、親子で収集したごみの量を競う競技形式の清掃活動とした。クルージングは1回30分程度、乗船定員が7～8名なので、6回ほど行い、参加者全員が乗船した。

収集したごみの量を競うことで、多くのゴミが収集でき参加者の保護者からは、「ゴミ拾いの時間があつという間に過ぎて多く拾いたい！拾うことが楽しい！」という意見が多く寄せられた。測定の結果、一番多く収集してくれて親子のごみの量は約50kgにも達しており、全体で2トンのごみを収集した。収集ゴミの種類は流木をはじめ生活ごみや家電もあり、一番多か

ったのは、プラスチックごみでビニール袋やお菓子の袋、ペットボトルなどが収集された。また、海をより身近に感じてもらえるよう参加者の皆さんに漁船に乗船してもらい、港内を周遊するクルージングを実施した。本事業を通して参加者の方々に、海洋ゴミの削減の重要性や、海を守ることの大切さを啓発できたと考えている。

多くの参加者から、次年度もまた参加したい意向をうけており、可能な限り実施を計画していきたい。



●会場:徳島小松島港赤石ふ頭  
(あいさいスタジアム北側・漁港)

参加費無料!

# 豊かな里海づくり体験

漁船に乗ってクルージング体験をしよう  
海岸や漁港周辺で収集したごみを計量し一番多く  
収集した親子の方へ記念商品をプレゼント

漁船クルージング・徳島小松島港を周遊します

港周辺清掃活動



本物の漁船に乗ろう!!

11月7日/日曜日9:00開始・親子申込

0885-38-0706

お問い合わせ先



主催:CS阿波地域再生まちづくり

受付専用mail:cs.awa@galaxy.ocn.ne.jp

不在時の連絡先08056615566

(平日:10:00~17:00)

